

## R5 進学・就職決定速報

### ※現時点の合格者

- ・国立大学法人 香川大学農学部1名
- ・国立大学法人 琉球大学農学部1名
- ・沖縄リハビリテーション学院1名
- ・北部看護学校1名
- ・東京未来大学こども心理学部1名
- ・四天王寺大学看護学部1名
- ・酪農学園大学農食環境学群1名
- ・県立浦添職業能力開発学校1名
- ・東京農業大学生産農学部2名
- ・沖縄国際大学日本文化科1名
- ・静岡県立農林環境専門職大学1名
- ・ホテル業1名
- ・建設業1名 ・理美容業1名

## SSH交流会への参加 12月7日(木)

球陽高校において、SSH交流会が開催され、本県の理数科等の学校にも声がかかり、意見交換等を行っています。

今回は、大分県の佐伯鶴城高校が招かれ、球陽高校、辺土名高校、北山高校、名護高校、向陽高校の6校の生徒50名以上が参加し活発な課題研究発表会が行われました。

向陽高校の校長先生から「辺土名高校のやんばるの自然を題材にした発表が私の目を引きました。」との感想をいただきました。



今回の発表が私の目を引きました。」との感想をいただきました。

## 宮城通就 先生(社会科)が琉球新報教育賞を受賞 12月7日(木)琉球新報ホールにて授賞式がおこなわれました。本人のあいさつでは「生徒に学ぶ喜びを感じてもらいたいという気持ちから、授業の工夫改善に取り組んでいる」とのことであった。

授賞式の様子



## 大宜味小・中学校で読書活動研修成果を実践!

本校では、県教委学振課主催の読書リーダー研修に参加し、また、東京都で実践されている「味見読書」を図書委員会で勉強会行いました。その成果の場として、中学校で11月29日(水)どこでも好きなところを3分間読み2分で評価することを4冊その後グループ内で1分間で紹介する「味見読書」を実践、初の体験に朝読に良いのでは、との感想でした。小学校では各学級で読み聞かせを行い、楽しそうに聞いてくれました。高校生にとっても楽しく、良い経験になりました。



## 辺土名高校で沖縄・小笠原を知る特別授業 11月28日(火)

本校に於いて、環境省やんばる自然保護官事務所とやんばるの自然環境の保全活動に取り組んでいるやんばるリンクスが主催して、一般の人を対象に「世界自然遺産の保全と利用に関する特別授業」が行われました。発表者は、環境省の職員、東村のエコツアーガイド、本校のサイエンス部の発表もありました。サイエンス部部長の仲宗根君の発表は、辺土名高校の紹介、サイエンス部の取組の紹介、最近の研究テーマ「アジサシの保全活動」など、紹介していました。とても、よくまとめた内容で、堂々と発表していました。仲宗根くんお疲れ様でした。



今回の発表者に環境省の職員として、イリオモテヤマネコやカンムリワシなどの保護活動の任務にあっている、本校OBの仲本さんの参加もありました。そのお話から一部紹介します。

## 仲本 光寿 (なかもと みつよし)さん

※石垣自然保護管事務所アクティブレンジャー ※国頭村出身、辺土名小、国頭中学校卒業で、本校60期普通科卒業  
仲本さんのお話の最後に、辺土名高校の卒業した者として皆さんに伝えたいこと「○これからは若い人たちの時代、広い視野で、バランス感覚を持つことが大事、自分のアイデア次第でいろんなことができる。○やんばるの自然、世界自然遺産については、他人事ではなく自分事として、やんばるの未来について考えて欲しい、世界自然遺産を利用して、地域に還元していけるような仕組みや取組を考えて欲しい、できることから、まずやってみよう。」と、学校、地域の子ども達へのメッセージがありました。